大阪ブライダル専門学校 募集･教育方針

募集方針

アドミッション・ポリシー（求める人物像）

本学園の学園理念「グローバルな視点を持ち、職業現場でホスピタリティを実践し、人と社会に貢献できる人財を育成します。」に基づく「教育目標」及び「到達目標」を理解し、それを達成するために学生生活を送ることを前提に、以下の入学生の受け入れ方針を定めます。

【求める学生像】	【本校入学前に身につけてほしい学力・能力】
・結婚式を通じて、心豊かな社会づくりに貢献したいという意欲がある人 ・人と人のつながりを大切にし、感動を生み出せる人	・ブライダル業界への興味 ・入学後の学修を円滑に進めるための、国語や英語、地理歴史、数学等で学ぶ基礎的な知識 ・挨拶などの基本的なコミュニケーション

教育方針

教育目標

グローバルな視点を持ち、職業現場でホスピタリティを実践し、人と社会に貢献できる人財を育成する。
・「ホスピタリティ(おもてなしや思いやり）」の心を育む。
・プロ意識を醸成。
・目指す職業の知識技能の習得。

「カリキュラムの体系化によるキャリア教育」
①生き生き働く職業人モデル（教員・先輩など）との接触機会を増やすことによる動機付け教育の実施。
②現場体験で経験機会を増やすことによる体感学習の実施.。
③社会に出て役立つ技能を身に付けるための実務学習と資格の取得。

到達目標

ホスピタリティ(おもてなしや思いやりの心)の概念と、職業現場におけるホスピタリティの重要性を理解し、観光業界で「おもてなしのプロフェッショナル」として、お客様に感動・笑顔・安心を提供できるビジネスマナーを身に付けた職業人材の育成を目標として掲げる。この目標を踏まえ、それぞれ以下に示す教育活動を展開する。

【ブライダル学科】
1.「実践的な専門知識を活かした企画提案力の育成」
お客様の要望を理解し、あらゆる専門知識を活用して顧客満足度の高いプランニング能力を身に付ける。
2.「豊かな感性の育成と、コミュニケーション力の向上」
多様なお客様に対して柔軟な対応力を活かし、お客様の心の中にある本質的なニーズを察知、分析、立案できる力を身に付ける。
3.「主体性を持ち、自主性のある人材の育成」
変化が早い市場の流行に対応できるよう自己研鑽の必要性を理解し、主体的に学び続ける力を身に付ける。

［取得目標資格］
全学科： サービス介助士、みんなの外国語検定
ブライダル学科：ブライダルコーディネート技能検定3級、認定ウエディングプランナー、認定ドレスコーディネーター、色彩活用パーソナルカラー検定3級

カリキュラムポリシー

国内外のブライダル業界で活躍できる職業人の育成と、専門的且つ実践的な知識・技能の修得、ホスピタリティマインドの醸成を目的として、下記の教育課程編成及び実施に関する方針に基づいてカリキュラムを編成する。

１. 観光に関わる専門的な知識、教養、技能、マインドを段階的且つ体系的に幅広く修得することを目的として、専門科目を実施し、各業界で必要とされる実践的知識を身に付ける。
２. 業界出身者よる実践教育や、業界との繋がりを活かした産(官)学連携教育を実施することにより、業界の持続的発展に寄与できる職業人の育成を目指す。
３. 他を思いやるホスピタリティマインドを育み、多様な価値観を受容できる力を育成するホスピタリティ教育科目を実施する。
4. グローバル社会で必要とされる英語運用能力の基礎を身に付け、多文化理解を深めるため、外国語教養科目を実施する。
5. 卒業後のキャリア形成を目的とし、本校で培われた力を社会で発揮するための業界研究及び就職対策科目を実施する。キャリアビジョンの明確化、業界人事担当者や卒業生による講話、学内会社説明会を行い、業界・企業理解を深め、志望企業就職決定へ導く教育を実施する。
6. 他者と柔軟に協働し、自律的に観光に関する課題・問題を発見し、解決する思考力の 醸成を目的として、プロジェクト学習科目を実施する。
7. 社会人として適切なビジネスマナーを身に付けるとともに、社会で求められる広範な知識と多角的に問題を解決する能力の基盤を育成するため、教養科目を実施する。
8. 多様化する観光業界の変化に適応し、持続的発展に貢献できる柔軟性、接遇応対能力を修得するため、コミュニケーション演習科目を実施する。

【大阪ブライダル専門学校】
・ブライダル業界で必要とされる創造力の向上を目的とし、企画力養成演習科目、表現力教育などの実務科目、現場力を高める企業実習を実施する。
・多種多様化するお客様のニーズや社会トレンドの変化に対応できる人材を育成するため接客接遇科目を実施、及びICT(1人1台のiPadを導入)を活用し、他者と協働して進めるマーケティング科目、プロデュース演習などの実務科目を実施する。

【授業形態・評価・教育方法】
１. 課題解決能力、協働性の涵養を図り、主体的・対話的な深い学びの機会を充実させるため、ICTの活用及びアクティブラーニングを取り入れた教授法を積極的に導入する。
２. 各科目の到達目標の達成に向けて、講義、実技演習、協働活動を組み合わせた授業を実施する。職業体験を通して社会性の育成を図るため、課外活動、企業実習を実施する。
３. 授業シラバスで提示された到達目標に対する成果を公正に測るため、評価方法及び評価基準を明確にし、知識・技能を評価する。

ディプロマ・ポリシー

本学園では、本学の定める修業年限以上在学し、専門科目、共通科目を所定の履修方法に従って110単位以上を習得し下記の能力・資質を備えた者に対し卒業を認定。
①通常授業　②企業実習　③学校行事

①～③の総時間数の75％以上を受講した者に対し卒業を認定。

ホスピタリティマインド	相手の立場に立って考え行動する「ホスピタリティマインド」を持っている。
	「自己理解・他者理解」、「キャリアデザイン」自らが気づきを得ることができる。
知識・理解	業界・企業の特色を理解することができる。
	専門業界に必要な知識及び能力を得ることができる。
	働くうえでの基本といえる、ビジネスマナーを身に付けている。
専門性・表現	専門知識に基づいた、クリエイティブな思考力を持っている。
	好奇心を持ち、自らの専門を探求することができる。
	自分の考えをしっかり相手に伝える表現力を持っている。
	視野を広げて、向上心を持ち続けることができる。